

U-IJターンを促進

名古屋よしもと 動画で15市町村をPR

愛知県は県外からのU-IJターンを促進するため、名古屋よしもとに所属する芸人が県内の市町村をPRする動画を制作した。動画は県内15の市町村ごとに制作され、各10分ほどの長さ。東三河では豊根村と蒲郡市の魅力や就職先などが紹介された。

豊根村版は、おばけ(ヒラモトアイナ・山口泰弘)の2人が茶臼山高原を訪れ、村の職員や同村のマスコットキャラクター「ベリーちゃん」「ポントくん」と一緒に村をPRする内容。県内最高峰の茶臼山高原を「愛知

蒲郡市版にもおばけの2人が登場し、竹島海岸の前から「海・山・自然が身近な街 蒲郡市」をPR。働き場として、繊維業や観光業、農林水産業のほか、交通アクセスのよさを生かして近隣市町村に働きに出やすいこともアピールした。

県は東京都内に「あいちU-IJターン支援センター」を開設しており、県内企業の求人情報を提供し、移住希望者からの個別相談にも対応している。今回制作した動画以外にも、今後、希望する市町村の動画を制作していく。動画は、同センターのYouTube公式アカウントで公開しており、QRコードからアクセス、視聴できる。



QRコード



おばけの2人と役場職員が豊根村を紹介



竹島海岸から蒲郡市の自然をアピールした

企業などPRへ工夫凝らす

愛知工科大生が映像制作プロジェクト発表会

愛知工科大学(蒲郡市西迫町)で9日、情報メディア学科3年生による映像制作プロジェクトの成果発表会があった。

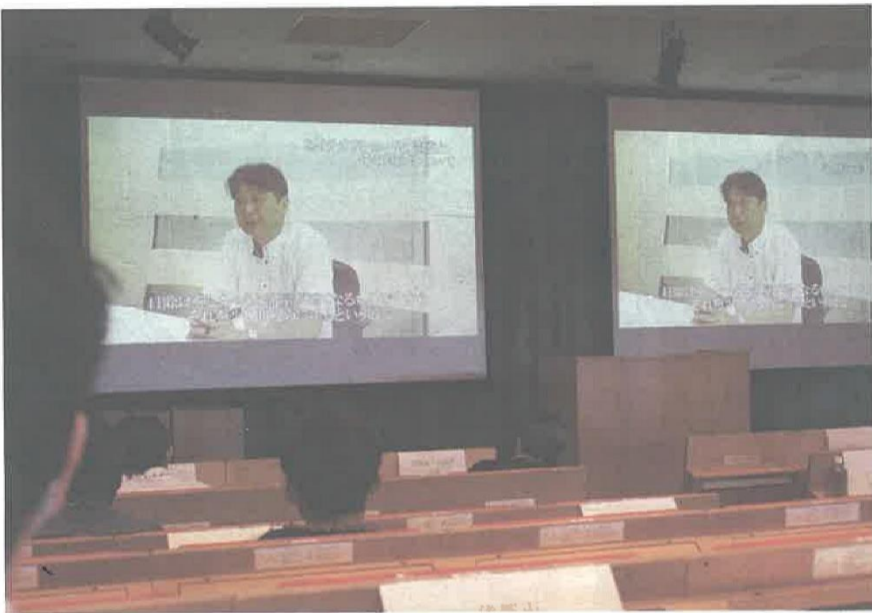
6月から市内の織物業「イチオリ」を取材した山田託也さん、馬場遠太郎さん、鈴木春輝さんのグループは、市川裕茂社長とのメッセージを中心に3分間の映像作品に仕上げ、商品の魅力を伝えた。市内の海岸で商品の日よけシェードを風にはためかせるシーンでは、日差しを遮りながらも通気性が良いことをアピールしたという。

山田さんらは「新型コロナウィルスのため、撮影場所や時間を取るのに苦労したが、完成にこぎつけたことができて良かった」と満足そうだった。

イチオリの市川社長はリモートで参加し「工場内をいろんなアングルで撮影し、吟味して構成したのが分かる。スポットを当ててくれてありがたい」と感想を寄せた。

ほか10グループが企業や飲食店、観光地などのPR映像を発表した。

プロジェクトは、地域の課題解決に向けて産学官の連携を深めようと、市が大学に委託した。鈴木寿明市長は「大学との連携をまっすぐに生かしたい」と話した。



学生たちが制作し、発表した映像(蒲郡市・愛知工科大で)

東愛知

海外販路拡大へ官民一体

来年3月に国際食品・飲料総合展

蒲郡市が出展者を募集中

蒲郡市は来年3月8日から千葉市の幕張メッセで始まる展覧会「F OOD EX JAPAN 2022」の出展者を募集している。今月30日まで。

日本とアジア、世界をつなぐ国際食品や飲料総合展覧会。出展する事業者や自治体、来場者の双方のビジネス拡大の絶好の場になる。

市はこれまで、食料関連事業の海外販路拡大に向けて、市内の事業者と協力し、特産品のミカドやメヒカリを使った商品を出展してきた。さらなる販路拡大に向け、官民一体で共同出展するたため、市内の農水産品や食

品関連事業者を募集する。市が出展料とブース基礎装飾費を負担する。低コストで自社商品の紹介ができる。また、市と蒲郡信用金庫、蒲郡商工会議所が連携協定に基づき、準備や当日のブース運営をサポートする。担当は市観光商工課。



以前の蒲郡ブース(提供)

新型コロナウイルスの影響で、やむを得ず事業を中止する場合があります。【林大二郎】

東日

蒲郡 さかなクン講演会 オンライン開催に変更へ

19日に蒲郡市海陽町のラグーナテンポスで開催予定だった「さかなクンがまごおりおさかな学校開校記念講演会」と「さかなクン、ギョギョットクライプ」は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、オンライン形式に変更されることになった。応募者にはのみ限定配信する。

無料で参加でき、16日まで市の公式ホームページで追加募集している。

中日

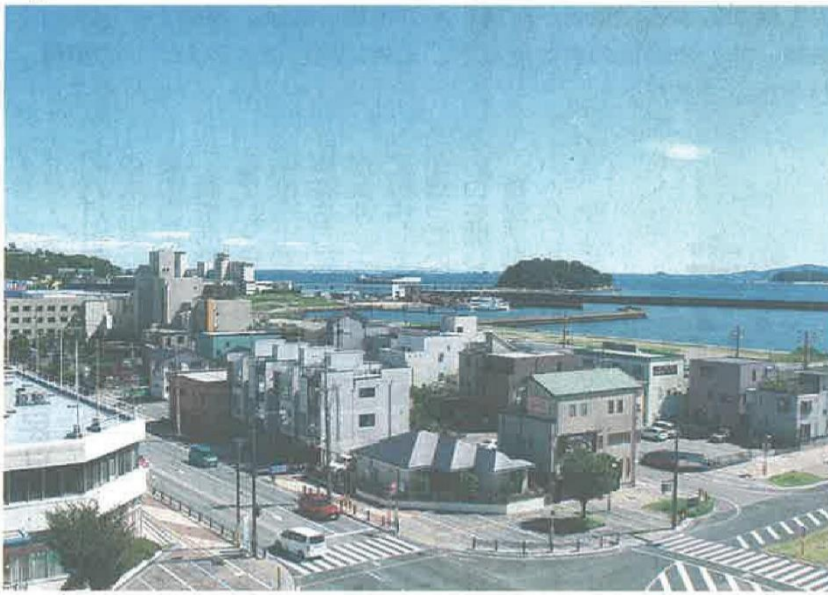
観光客25年に713万人目標

蒲郡市が5年間ビジョン作成

蒲郡市は、観光産業の将来像を示した新たな中期計画「市観光まちづくりビジョン」で、市内を訪れる観光客を二〇二五年に七百十三万人に増やすとの目標を掲げることを決めた。近年、年間六百万人台で推移してきた観光客は新型コロナウイルス禍でほぼ半減。アウトドアの体験型ツアーの拡充などに取り組み、コロナ後の回復を目指す。

九日の市議会経済委員会で、ビジョンの内容を明らかにした。計画の期間は二一―二五年度の五年間。蒲郡商工会議所や市観光協会、宿泊事業者とともに策定を進めてきた。ビジョンではコロナ禍で

海や竹島、温泉といった観光資源を有する蒲郡市



トドアツアアの拡充のほか、観光地で働きながら休暇を取るワーケーションの

受け入れ、ITを使った市場調査の強化などを挙げた。

海や竹島の景観を生かした取り組みとして、テラスカフェの出店支援、音楽フェスの誘致、レンタルサイクルの充実といった事例も盛り込んだ。

委員会では任意団体である市観光協会が今後、旅行商品の企画といった事業展開をできるように、本年度中に法人化を目指すことも報告した。小田芳弘観光商工課長は「旅行者に蒲郡で過ごす時間や体験を楽しんでもらうため、関係者で連携しながら観光事業を磨き上げたい」と述べた。ビジョンは、今月末をめどに市のホームページで公開する。

(西山輝一)

中部経済

#ハッシュタグ

○：観光名所が多い蒲郡市は、コロナ禍で訪れる観光客が大幅に減っていることが頭痛のタネだ。蒲郡商工会議所会頭の小池高弘さんは「愛知県の非常事態宣言はしばらく続きそうなお盆間」と前置きしつつ、アフターコロナに向けた「受け皿整備が大切」と説く。

「生命の海科学館、竹島水族館、海辺の文学記念館、そして竹島。



観光の受け皿整備大切

海沿いにこれだけの名所が並ぶ場所は全国的に見ても珍しい。これらの名所を一体的にレベルアップさせたい」と意気込む。

○：海沿いの名所のレベルアップは、それぞれの施設の責任者や商工会議所、蒲郡市が連携してじっくり取り組む考え。ただそれにはしばらく時間が必要となる。「市内で使えるプレミアム付き商品券がまもなく始まり、続いてお値打ち感のある宿泊券の発行も具体化する。受け皿整備とともに足元の経済活性化にも注力したい」。

短期と中長期の施策を並行して進めていく考えだ。

(三速)

東愛知

19日の蒲郡・音楽イベント

オンライン配信へ変更

緊急事態宣言の延長を受けて

19日に蒲郡市港町で開催予定だった音楽イベント「みなとオアシスがまごおり」SEASIDE L.I.V.E」をオンラインに変更して開催する。「海と日本プロジェクト」の一環で、音楽を通じて蒲郡の海を感じながら楽しめるイベント。市観光大使のしがせいこさんやジャズボーカリストの今岡友美さん、サクソフ・プレーヤーのユッコ・ミラーさんが、港町の竹島ふ頭の特設ステージで出演予定だった。新型コロナウイルス感染症対策として応募人数を100

人に制限するなど準備を進めてきた。だが、緊急事態宣言の延長を受け、オンラインで開催することにした。「海・みなと・蒲郡実行委員会」のYouTube公式チャンネル「QRコード」でトークショーや音楽を配信する。

【林大朗】



中日

子育て支援役立てて

蒲郡市に41万円寄付

明治安田生命岡崎支社

明治安田生命岡崎支社(岡崎市)は地域住民の子育て支援などに役立ててもらおうと、蒲郡市に四十一万一千円を寄付し、七日に市役所で贈呈式があった。

明治安田生命は昨年「地元」の元氣プロジェクト」と題し、住民の健康づくりやまちづくりを支援する社会貢献として、全国の自治体やNPO法人に寄付を続けている。蒲郡市への寄付は三回目。石井雅浩支社長や同社マスコットキャラクター「ライイトくん」らが来庁し、鈴木寿明

市長に目録を手渡した。石井支社長は「子育て支援や介護・認知症対策などに役立ててもらえれば」と話し、鈴木市長は「街が元気になるように、有効に使ってほしい」と述べた。



目録を手渡した石井支社長(左)と鈴木市長(右)蒲郡市役所で

9/9(木) 中日夕刊

波の少ない穏やかな三河湾。夏の日を受けて、海面がきらめく。水辺では数羽のカラスが歩いたり、何かをいばんだりしている。八月下旬、赴任したばかりの愛知県蒲郡市で海岸を歩くと、のどかな風景があった。それまで暮らしていた名古屋の繁華街で見

海辺の散策

かけた、車を俊敏にかわすカラスに比べてのんびりした様子だ。四角い橋は、岸辺から橋をつなげた竹島が浮かぶ。風光明媚な景観を前に、鳥たちもおっとりとした気分になるのだろう。本来ならこれからの行楽の季節に多くの観光客に訪れてほしい。

コロナ禍でそう書けないのもどかしい。秋には海沿いで食の催しなどが計画されているが、観光関係者からは「数カ月後のコロナの状況が全く読めない」との嘆きも聞かれる。蒲郡に来てと気兼ねなく言える日がいなくなるか、また見えな

(西山輝一)